

令和 8 年 8 月発行
Vol.67

はっぴーわーく

福岡市立障がい者就労支援センター

企業支援（障がい者雇用サポートデスク）のご紹介

当センターの障がい者雇用サポートデスクは、企業に向けて障がい者雇用や職場定着に関する支援を行う専門の窓口です。

「初めての障がい者雇用、何から始めれば」「社員の理解を得るには」といった声に、企業支援部門の職員が一つひとつお応えしています。採用前の準備から雇用後の定着まで、関係機関とも連携しながら、企業に寄り添って課題の解決をお手伝いしています。
(在職中の障がいのある方に関するご相談もお受けしています)



サポートの流れ

1

相談受付

電話・メールでご相談を受け付け、必要に応じて訪問日を調整します。

2

ヒアリング

企業支援担当の職員が訪問してご相談内容をお聞きし、課題の整理や助言などをおこないます。

3

解決に向けたサポート

下記の取り組みなども活用して課題解決をサポートします。

4

継続フォロー

雇用後の職場定着など、状況に応じて継続的にバックアップをおこないます。

センターが行っている企業サポートの例

サポーター企業制度

実習受け入れによる障がい者雇用の「体験」

企業の方へサポーター企業（利用者の体験実習の受入れ協力企業）としての登録をご提案しています。実習生を職場にお受け入れいただく中で、企業の方も障がいのある方と働くイメージをご確認いただけます。



ジョブコーチによる業務体験

職員が実際の業務を体験し障がい者雇用の基盤づくりをサポート

ジョブコーチが職場で想定する業務を体験。障がいのある方の強みを活かせる業務や必要な配慮などを確認し、スケジュールや業務量の調整、マニュアル作成など求人化に向けた取り組みの助言をおこないます。



出前講座

社内研修へ講師を派遣働きやすい職場環境へ

障がいのある方と一緒に働くにあたって、障がい特性や合理的配慮などについての出前講座を、人事担当者や現場の職員に向けて行います。



実際の企業サポート事例を詳しくご紹介！

企業と連携して進めた障がい者雇用支援の事例を、次のページに掲載しています。

詳しくは
2・3面へ

企業支援事例紹介

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 福岡県支部 福岡県自動車販売店協会

～今回は初めての障がい者雇用に取り組まれた事例を紹介します～



福岡県支部 専務理事 中富康宏さん



一般社団法人

日本自動車販売協会連合会

JAPAN AUTOMOBILE DEALERS ASSOCIATION

2024年に福岡労働局らが主催のサポート交流会※をきっかけに当センターへ障がい者雇用の進め方についてご相談がありました。初めての取り組みに戸惑いながらも業務の切り出しや受け入れを実現されました。

今回は福岡県支部専務理事の中富さん、業務の切り出しから現在も現場でサポートをされている大坪さん・居石さんにお話を伺いました。

企業概要

福岡県自動車販売店協会は健全な車社会の形成と流通の改善等を図り、日本経済の発展に寄与することを目的として交通安全、環境など様々な事業を展開されています。

※障がい者就労支援機関と障がい者雇用を検討する企業との交流及び連携強化を図るための会



自動車販売店協会の取り組み



新規雇用の
検討

ジョブコーチ
体験の
受け入れ

サポーター
企業へ登録

体験実習の
受け入れ

採用面接

定着支援

2024年 秋

2024年 冬

2025年 春

2025年 秋～現在

初めて障がいのある方を雇用するにあたり 不安だったこと

コミュニケーション能力や仕事のスキルに関して、どこまでの仕事をお願いできるのか、業務をお伝えする際の注意点などの認識不足もありました。

これまで、会社全体として身体障がいの方の雇用をイメージしていました。そのため、主に環境面に対しての不安がありました。しかし、センターより発達障がいや精神障がいの方が活躍していることを伺い、受入れのイメージが変わりました。

「ジョブコーチ体験」を実施した感想

業務の切り出しのために、ジョブコーチに実際の業務を体験していただきました。業務内容を体験実習の希望者に分かりやすく伝えていただけたことが良かったです。ジョブコーチによる業務体験を実施したことで、体験実習希望者への安心感につながったと思います。

「サポーター企業」に登録したきっかけ

会社全体の障がいの理解や認識はまだまだ低く、今後障がい者雇用を進めて行くにあたり職員にも障がいに対する正しい知識を持ってもらうために、サポーター企業として登録させていただきました。実際に体験実習を受け入れることによって社員全体の理解も深まっていくのではないかと思います。



障がい者雇用をしてみて良かったこと

初めての雇用でしたので、職員の障がいを持った方に対する接し方や、指導の仕方について考えることができ良かったと感じています。今後も実際に関わっていくことで障がいについて理解を深めることができと思っています。

受け入れの準備で大変だったことや困ったこと

初めての受け入れでしたので、どのような仕事をしていただくか、準備をするのが大変でした。仕事が決まっているわけではないため、先ずは何をしてもらうかを話し合いながら業務の細分化を行いました。「この業務はできるか?」「この業務はどんな風に伝えたら分かりやすいか」など、各業務担当者と整理しました。

障がい者雇用について今後の展望

業務については、就職を希望される方の特性に応じて対応したいと考えています。雇用を進めるなかで勉強をさせてもらえればと思っています。

障がい者雇用を継続していくために 大事だと考えていること

現在雇用中の方は繰り返しの作業は少し苦手なように感じますが、エクセルでのファイルの背表紙作成はとて丁寧な完成させることができています。それを見て誰しも得意不得意があるのだと実感しました。「どのようにすればこちらの気持ちが伝わるのか」「本人がどう理解してどう汎化できるのか」ということを考えながら本人に伝えることが大事だと考えています。また、2ヶ月に1回業務目標を作成し、職場・支援者・本人と定期的に面談を行っています。特性に合わせた進め方や定期的に振り返りの場をもつことが大事だと感じています。

障がい者就労支援センターを 利用してみよう

導入から雇用のサポートまで、大変お世話になっております。当協会としては初めての障がい者雇用であり、採用された方も初めての就職ということもあって、当初は分からない事ばかりでした。しかし、採用後も定期的に訪問して様子を気にかけてくださるなど、手厚い支援に深く感謝しております。今後の採用につきましても、是非またご相談させていただけますと幸いです。



今年の10月に
みなと香椎に移転予定です！



令和 8 年 5 月 22 日 (金)

企業 × 事業所の合同セミナーを実施しました

初開催

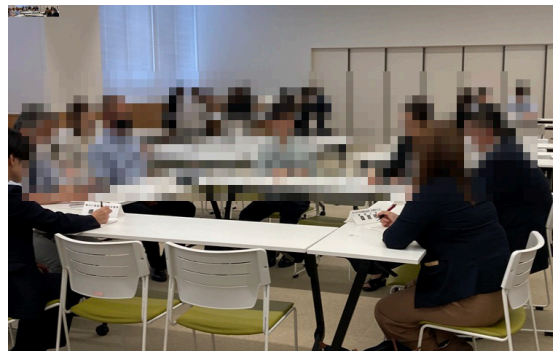
支援と雇用を『つなぐ』

～障がい者雇用の質を高めるために～

～発達障がいの基本的な特性理解と対応～

講師：ゆうゆうセンター 所長 大宅 妙

初の試みとして、講義後に企業と支援者が互いの視点で、発達障がいのある方の雇用の課題等について意見交換を行いました。企業と支援者それぞれの立場から、日頃聞けない実情を聞き理解を深めていただく機会となりました。今後も雇用の質を高めるため、開催を企画していきます。



44 社 25 事業所 講演参加人数：85 人
意見交換会参加人数：39 人

スタッフ通信

～センター職員の日頃の声をお届けします～

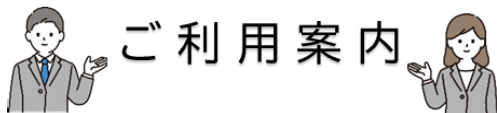
暑さが本格的になってきましたね。それでも食欲は衰えないジョブコーチの T です。ここで働き出して 9 か月になりました。

企業へ見学に行き、体験させていただくこともありますが、その中で様々な仕事があることを知り、その内容に驚くこともしばしばあります。

屋外での除草作業に 1 日同行した日は、のどはカラカラで、首や手は日焼けで真っ赤になりました。倉庫作業も、汗びっしょりになり、タオルを 2 枚使うほどでした。

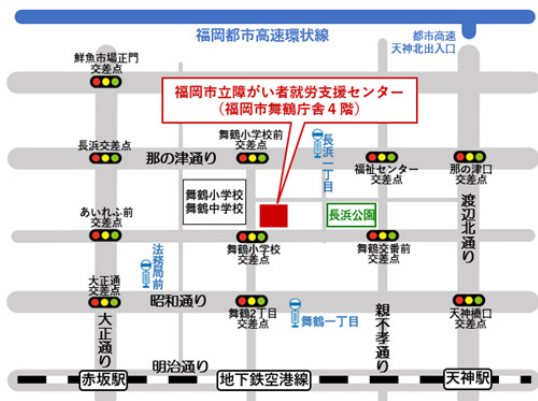
厳しい環境下でも業務に向き合われる姿に、支援者として身が引き締まる思いでした。同時に、様々な環境の中で、共に働くことを大切に取り組み雇用を進めてくださる職場の皆さまに心より敬意を感じています。

これからも自分自身が経験を重ね、現場に寄り添いながら、働きやすい環境づくりを支えていきたいと思っています。



ご利用案内

当センターは、障がいのある方の企業就労を進めるために障がいのある方・企業・関係機関への支援を行っています。



編集：社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団

福岡市立障がい者就労支援センター

連絡先：〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号

福岡市舞鶴庁舎4階

電話：092(711)0833

FAX：092(711)0834

フェイスブックやインスタグラムにて
セミナーのご案内や事業報告を掲載しております。

ホームページ



Instagram



フェイスブック

